

三條別院のご案内

三條別院に想う

昨年三月十一日に突然襲った東日本大震災、七月の新潟福島の集中豪雨、今また何十年振りかの記録的な豪雪に全国各地に尊い命が犠牲になりました。長引く福島原発問題と、思いを超えた現実、それでもなお復興へと立ち向かう逞しさ。TV、新聞等の報道を見聞きする時、自分の無力さに唖然としている私がいま。

ところで、私達門徒会、推進員会協賛で毎年、親鸞聖人の遺徳を偲んでの研修旅行を実施して、昨年で六回を数えます。初年度と二回目は上越、居多ヶ浜、ゆかりの御寺院、恵信尼公御廟所など。三回目は聖人ゆかりの善光寺。四回目は越中名刹を訪ね、五回目は信州戸隠と実施してきました。朝七時に高速に乗り、帰宅は夕方七時頃、いつも十二時間ほどかけての強行軍の旅ですが、参加された方々は、良かったね！ 又頼むね！ と、心底充実感を得ての研修参拝です。

昨年は三月の大震災でお休み（中止）と思いましたが、皆さんの声もあり、急遽、越後七不思議（下越）参拝の旅を企画し、バス四台、参加者百四十七名で実施。六月二十三日は朝になつても激しい雨が止まず、組内の有名な三度栗の孝順寺様

へと出発—お西のお寺—逆竹—波切の御名号—山田の焼鮎—田上の繫樞、と参拝させていただきました。各ご寺院の御住職様方はあの雨の中迎えてくださり、帰りはバスの所までお見送りいただき、大変ありがとうございました。こうした企画も正副組長、各ご寺院の力添えを頂き、共にご参加願つてのことで、門徒会、推進員会ともども、ありがたく感謝しております。

昨年五月に発行された内藤章（元新聞記者）氏の『親鸞 越後の風景』を組内の一楽寺御住職様より「こんな本が出版されましたよ」、「越後の不思議に入らない、布教の道すがら腰を下ろした石までも事細かく書かれていますよ」と電話を頂き読みました。

さまざま不思議、また親鸞聖人の越後での生活、五木寛之氏の日報の親鸞の連載小説を思い出しました。でも「二十四輩順拝図会」は幾度となく出てきますが、肝心な「二十四輩」の由緒が記されてなく、知りたかったと思いました。

本山、別院、お寺（手次寺）に詣でる。いつか講師の先生が法話の時に言われていた事ですが、寺って嫁いだ人が実家に帰ったような所とおっしゃいましたが、この身が、心が癒される、安らぐ場所です。

別院の地元の人達は「こぼさま」と親しんでおられる素晴らしい別院です。何時でも待っていてくださる……。

（第二十三組無為信寺門徒 金巻拾子 氏）

○次回の「三條別院に想う」は、

小室 昭博氏（第十四組 明行寺）より

ご執筆いただきます

■第十組内郷地区 御影巡回開催

去る二月十八日、柏崎西山地区の荒谷集落センターにて別院巡回が行われました。当日は午前中の快晴から一変し、巡回が始まる頃には雪模様に変わり、参詣者は雪かきに追われる中、三十名ほどのお参りをいただきました。

建物中に響き渡るお勤めに、皆さんの日頃の熱心なお勤めの様子が目につかぶようでした。その後、当別院輪番による法話が行われ、別院巡回の歴史や、親鸞聖人の書かれた末燈鈔の中から「愚者になりて往生す」について話されました。その後の質疑応答では別院巡回を一年に複数回行えるのかなどの質問が出ました。以前は様々な箇所で行われていた別院巡回ですが、現在は数が減っております。ご要望があれば巡回させていただきます。

皆さまので、聞法会をお考えの際はぜひご相談ください。



【吹雪の中お参りいただいた】

■第十九組改観寺雑巾講報告

去る二月二十日、第十九組改観寺様（新潟市秋葉区川口）で雑巾講が開催されました。毎年十月に三条別院に雑巾を「ご進納」いただいでいていいることから、別院からも参加させていただいておりま

す。
お講の皆さんは、手ぬぐいを使って、一枚一枚手縫いで仕上げていきます。「おめさん、針なんか持ったことねえろう」と、手取り足取りご指導いただきました。縫いかけのぞうきんは、冬の間に各自の家々で完成させるのだそうです。

その日は恒例になっている二胡という楽器のコンサートと、ご当院が作る讃岐うどんの振る舞いが行われました。

「お寺に来るのが楽しい」との言葉も聞かれ、長く真宗を支えてきたが、今は失われつつある「講」の新しいあり方を示してくれるような一日でした。



【縫い方を指導してくれたおばあちゃん】

■春彼岸会・東日本大震災追弔法会のご案内

今年の春彼岸を左記の通り厳修いたします。皆様のご参詣をお待ちしております。

また、東日本大震災から一年を機に、十八日の速夜を東日本大震災追弔法会としてお勤めさせて

いただきます。

旧御堂では被災地の様子や活動を記録写真にて報告いたします。また、おしるこのふるまいもございませので、ぜひご参詣ください。

なお、十八日には全戦争犠牲者追弔法会も同日開催で勤修いたします。

◆期 日 三月十七日（土）～十九日（月）

◆日程並びに法話講師

十七日（土）午後一時三十分より速夜法要

法話 駒澤 暁子氏
（第十五組光正寺）

十八日（日）午前十時より永代経総経

法話 張崎 貴裕氏
（仙台教区駐在教導）

おとぎ（正午）

午後二時より速夜法要

【東日本大震災犠牲者追弔法要】

法話 張崎 貴裕氏
（仙台教区駐在教導）

引き続き午後三時四十五分より

【全戦争犠牲者追弔法要】

十九日（月）午前十時より日中法要

法話 藤田 賢哉 氏
（第十九組 玄證寺）

東日本大震災犠牲者追弔法要・全戦争犠牲者追弔法要へ、是非ご出仕ください。詳しくは既送のご案内をご覧ください。

なお、十八日（日）の正午に、おとぎを真加金 千円にてご用意いたしますので、ご希望の方は三月十二日（火）までに当別院までご連絡下さい。詳細につきましては、既送のご案内チラシをご覧ください。

■お誕生法要（子ども奉仕団のご案内）

「三条別院に詳しい 親鸞聖人・お釈迦様のお誕生会を通して 共に同朋として生きてあることに気づく」（子どもテーマ「あなたとおともだちになりたい！」）のテーマの下、本年も三条別院で子ども奉仕団を開催いたします。

子ども奉仕団を通して、自分自身を見つめてみませんか。「いのちの大切さ・本当の私」のことを皆で考える大切な場となるよう、皆で育て合うよう頑張っています。募集締切が間近です。多くのご参加をお待ちしております。

◆会 場 真宗大谷派三条別院

◆日 時 三月三十日（金）～三十一日（土）

◆対 象 新小学三年生～新六年生

※現在：小学二年生～五年生

◆参加費 四〇〇〇円（当日徴収）

◆申 込 申込用紙（同封書類）に必要事項を

ご記入のうえ、当別院へ三月九日（金）までに申し込みください。

◆問合せ 三条別院

※詳細につきましては、既送のご案内チラシをご覧ください。



【4月1日は親鸞聖人の誕生日

4月8日はお釈迦様の誕生日】

■別院声明教室のご案内

「声明を学べる場を」という要望が募り、昨年度から声明教室を再開いたしました。前回は宗祖親鸞聖人七五〇回御遠忌での同朋唱和の内容を中心に研鑽が行われましたが、本年度は、日常のお勤めと得度考査に向けての内容で計画しております。

◇開催日 五月 二日・十六日・三十日

六月 十三日・二十七日

全五回(隔週水曜日)

◇時間 午後六時より午後八時まで

◇講習内容 正信偈 草四句目下

念仏讃 淘三

和讃 弥陀成仏のこのかたは

次第六首

回向 願以此功德

◇講師 中富 正純氏(第二十三組 備前寺)

◇持ち物 『真宗大谷派勤行集』または

『大谷派聲明集 上』、念珠、

筆記具

◇参加費 五〇〇円/回

◇申込方法 お電話か同封しておりますチラシ

の申込用紙にご記入の上、郵送またはFAX

でお申込みください。

◇締切 四月二十五日(水) 必着

■御命日(二十八日)の集い

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と法話その後、座談会の場を開いております。

どなたでもお参りいただけます。皆様のご参詣をお待ち申し上げます。

なお、前日(二十七日)はお速夜法要を、午後一時三十分よりお勤めをしております。

【三月二十八日(水)】

午前十時 お勤め(御命日 日中法要)

文類偈 行四句目下

念仏讃 淘五

和讃 回口 次第六首

回向 願以此功德

◎今月の法話講師

松澤 孝然 氏 (第十九組 浄林寺)

◇今後の講師一覧

四月 泉 智慶 氏 (第二十三組 慶誓寺)

五月 武樋 隆如 氏 (第十四組 蓮光寺)

六月 松野 祐 氏 (第十三組 善行寺)



【平成18年以来といわれる豪雪】

■定例法話会のご案内

毎月十三日には、「両度の命日」と呼ばれている前門首のご命日です。また、蓮如上人も御文の中で、この「両度の命日」についてお書きになられています。(四帖目十二通)

三条別院の一番古い建造物である旧御堂で仏法に触れるひと時を味わいませんか。

皆様、お気軽にお越しください。

◇日時 毎月十三日 ※八月、一月は除く

午後一時三十分より(約一時間程度)

◇場所 三条別院 旧御堂

◇御講師

二月～四月

塚本 智光 氏(第十八組 等蓮寺)

五月～七月

赤沼 義昭 氏(第十三組 西方寺)

※塚本・赤沼両氏には、三ヶ月にわたって法話をいただきます。

■同朋会館に宿泊される方へお願い

同朋会館に宿泊される方は、同朋会館一階事務所にございます宿泊者帳に記帳していただき、シートクリーニング代としまして、五〇〇円いただいております。

また、翌朝七時より本堂にて晨朝が勤まりますので、お参りいただきますようお願い致します。

■別院奉仕研修について

先達の篤き御懇念によって護持されてきました三条別院にお越しいただき、その歴史に触れていただくとともに、現代の様々な問題を抱える私たちが、真宗門徒として親鸞聖人のみ教えに出遇うことを通じて、ともに語り合い、人間として生きる意味を尋ねていく場となることを願ひ、奉仕研修会を開いてみませんか。

○日程及び内容について、ご要望等ございましたらご相談承ります。

○奉仕研修会をお申し込みいただく方(団体)へ、冥加金としまして左記のとおりお願いします。

◎冥加金

- ・日帰り 一、五〇〇円
- ・一泊二日 二、五〇〇円

◎食事代(昼・夕食は業者発注のため)

- ・朝食代 五〇〇円
- ・昼食代 一、〇〇〇円程度
- ・夕食代 一、三〇〇円程度

■三条別院巡回について

かつて三条別院の御影をお迎えし、各ご門徒のお宅で聞法会が頻繁に行われておりました。しかし、時代の流れや、世代の交代で今では数えるほどしか行われていません。

ご門徒の皆様をはじめ有縁の方にのご案内いただき、三条別院御影巡回がより多くの方々のお念仏

をいただける場となるご縁となりますことを、願っております。

※曜日・時間等は昼夜問わず、皆様のお仕事の後などご相談させていただきます。

■三条別院有志の会について

三条別院では「有志の会」と称し法話や座談会(茶話会)など、近隣の方をはじめ、有縁の方に集りいただいております。

現在十余名の有志の皆様によって活動しておりますが、「三条別院有志の会」では、より多くの方にご参加賜りたく、新たな参加者を募っております。お気軽にどなた様でもご来院くださいますようお願い申し上げます。お問い合わせは三条別院まで。

■三条別院非常勤嘱託募集について

全寺院に既に案内させていただきました非常勤嘱託を引き続き募集いたします。詳細・履歴書につきましては、当別院までご連絡ください。

- 一、募集人数 若干人
- 二、勤務先 真宗大谷派三条別院
- 三、職種 列座業務
- 四、勤務時間 月十五日程度 平常午前六時から八時まで 諸法要及び土日祝日に出勤の場合(月一回程度)は、その限りではない。
- 五、任期 一年 但し、再任を妨げない
- 六、応募資格 ①真宗大谷派の僧侶 ②儀式・声

明を学ぶ意欲がある者
七、その他 定員になり次第、募集を締め切らせていただきます。

◇◇編集後記◇◇

毎日お朝事にお参りにいらっしやる御門徒が、除雪作業中に滑って骨折した。本堂に参詣が無い日が何日かあった。その他、別院に携わっている方々の怪我・病気が重なり、我々の「日常」は、怪我・病気・災難を常にはらんでいるのだと改めて知らされた……という教条的な話が主題ではなく、今まで折に触れて除雪作業を手伝ってくださった、今まで折に触れて除雪作業を手伝ってくださった八年以来と呼ばれる豪雪がたたみかけ、職員一同、うろたえざるをえなかった。早朝、別院に到着したら、本堂の入り口が埋まっている、雪で門が開かない、梵鐘を打とうとしたら、鐘楼堂の階段が埋まっている。「我々は僧侶として、何をすべきなのか」と問うことがあるが、今年の場合はきっと誰もが「雪かきです」と答えるだろう。

(斎木)

三条別院にメールアドレスが
できました。

san-jo-betsuin@wing.ocn.ne.jp

まで、お気軽にご連絡ください。